

令和4年度兵庫県中学校バレーボール男女優勝大会 審判上の注意事項

- 1 ルールは令和4年度（公財）日本バレーボール協会制定6人制競技規則による。
また、兵庫県中体連バレーボール競技部副部長会、審判講習会の申し合わせ事項に準ずる。
- 2 2日目の審判ミーティングを8：50より審判控室で行い、全試合終了後にも審判ミーティングを行う。
- 3 審判については、1日目の第1試合と第5試合、2日目の第1試合は次試合の両チームで担当する。その他の試合は、前試合の両チームで担当する。
※ただし、1日目の第4試合の副審については、本部で割り当てる。1日目の第7試合の審判は第5・第6の負けチームで担当する。2日目の第3試合～第5試合（準決勝、代表決定戦、決勝）の主審、副審、記録は本部で割り当てる。
- 4 プロトコール前に、監督・キャプテンは記録用紙にサインを済ませ、トスを行う。
- 5 合同練習、公式練習においては有効な構成員のみがフロア及びコートで行う。公式練習については権利のあるチームのみがコートを使用できるものとする。
- 6 役員、相手チームのプレーヤーはもちろん、自チームのプレーヤーに対しても粗暴な行為や人格を損なうような言動は、慎まなければならない。
- 7 スポーツマンとしてふさわしくない行為はしないこと。（相手チームに向かってのガッツポーズなど。）
- 8 ボールがデッドになった時点での不必要なコート外への飛び出しは、遅延警告の対象になるおそれがあるので行わないこと。
- 9 試合中に、ボールの交換を要求する場合、選手が主審または副審に申し出ること。
- 10 リベロ選手の交代は、必ずサイドラインで立ち止まり行うこと。
- 11 ワイピングは、基本的にセルフで行い、ラリー間に自己の責任で行うこと。また、タイムアウト・セット間はチームで責任を持ってワイピングを行うこと。それ以外はゲームキャプテンの要求、または、主・副審の判断で行うこと。